

特別
展示

山内逸三と藤井厚二

も育聴
のま竹
たれた居
ちたで



藤井厚二「鷺」
1935年 竹中工務店蔵



藤井厚二設計 聴竹居 本屋 客室（京都府大山崎町）

Yamauchi Itsuzo & Fujii Koji Chochikukyo

藤井厚二 1938年以前

湯のみ（輪花・蓮弁）
茶たく（朝顔の葉）
竹中工務店蔵



MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi

2025年 2026年
10月4日|土| - 2月1日|日|

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

休館日 | 月曜日（休日の場合は翌平日）、2025年12月29日～2026年1月3日

開館時間 | 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

観覧料 | 一般 500 円、団体 400 円（特別展示料金）

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

主催 | 多治見市モザイクタイルミュージアム 監修 | 加藤郁美

協力 | 株式会社竹中工務店、一般社団法人聴竹居倶楽部、愛知県陶磁美術館、多治見市文化財保護センター、
関西美術院、学校法人松山大学、武庫川女子大学甲子園会館、株式会社カクジン、山周セラミック有限公司、
国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

山内逸三
百合文レリーフタイル
1931～35年頃
当館蔵

山内逸三 レリーフタイル 1976年頃
山周セラミック自宅玄関（多治見市）



特別
展示山内逸三と藤井厚二
聴竹居で育まれたものたち

当館が所在する多治見市笠原町がタイルの街に変わるきっかけをつくった人物に山内逸三(1908～1992)がいます。山内は窯業学校を卒業後、京都の地で窯業・絵画・英語などを学び、1929年に帰郷。その後、約6年の時を経て施釉磁器モザイクタイルを開発し、その量産体制の基礎を確立させました。

そんな山内に多大な影響を与えた京都時代を語る上で欠かせない人物が建築家、藤井厚二(1888～1938)です。藤井は1928年、木造モダニズムの傑作にして2017年に重要文化財指定を受けた平家住宅、「聴竹居」を自ら所有する大山崎村(現:大山崎町)の土地に建て、家族と共に暮らしました。この藤井の元に、当時の山内は出入りしていたのです。家具や照明など、建築を彩るあらゆるものをデザインした藤井は陶磁器にも並々ならぬ関心を注ぎ、敷地内に窯を築いて「藤焼」と称するやきものを制作しました。

本展では、当時の京都で建築陶材の研究や陶磁彫刻の工芸化を牽引していた国立陶磁器試験所の存在を背後に見据えながら、山内が戦前に制作した美術タイル、そして本邦初となる、藤焼の中でもとりわけ特徴的な動物の陶磁彫刻を一挙、公開します。



山内逸三 (29歳頃)

藤井厚二 (30歳頃)



山内逸三
1. 「貼板とモザイクタイル」
1945年～1987年頃 当館蔵
2. 「吐水口(山羊)」
1931年～1935年頃か 当館蔵



藤井厚二

3. 「燕麦」1935年以前 竹中工務店蔵 5. 「蛸置物」1937年 国立陶磁器試験所(原型:沼田一雅) 産総研中部センター所蔵 愛知県陶磁美術館管理
4. 「雁」1938年以前 竹中工務店蔵



聴竹居 本屋 外観と居室

関連企画

1 特別展示開催記念対談「松隈章×藤森照信」

2025年10月4日(土) 13:30～15:30

内容 展示解説 清水雄也(当館学芸員)

基調講演①松隈章(一般社団法人聴竹居倶楽部 代表理事)

基調講演②藤森照信(建築史家、建築家、当館名誉館長)

対談 松隈章×藤森照信(ファシリテーター:清水雄也)

会場 多治見市笠原交流センター 大ホール(B1F)

※同時無料配信を予定。配信URLは後日HPにてお知らせします。

定員 100名、参加費:無料(別途入館料必要) 要事前申込(フォーム)

【受付開始:9月10日(水) 12:30

※先着順、HP及び各種SNSにフォーム掲載】

2 街歩きー山内逸三のタイルを見に行こう&工場見学
「10mmタイルが生まれるところ」ー

2025年11月16日(日)

午前の部 10:40～12:00 午後の部 14:40～16:00

講師 長江優緒(山周セラミック有限会社 代表取締役社長)

会場 山周セラミック有限会社(多治見市笠原町内)

※当館から歩いて向かいます

定員 各回10名、参加費:1,500円(入館料込み) 要事前申込(フォーム)

その他 加藤郁美氏(本展監修者)も帯同予定

【受付開始:10月8日(水) 12:30 ※先着順、HP及び各種SNSにフォーム掲載】

来場特典

「聴竹居」紹介パンフレットの配布

本展の開催に合わせて、聴竹居と藤井厚二について一目で分かる紹介パンフレットを作成。持ち歩きやすい手のひらサイズでお届けします。

※有料入館者(招待券、年パス、各種手帳含む)の皆様に配布します。

※なくなり次第、配布を終了とさせていただきます。

3 ギャラリートークー山内逸三と美術タイルの世界ー

2025年11月16日(日) 13:30～14:30

講師 加藤郁美(日本タイル史研究家[本展監修者])

聞き手 清水雄也(当館学芸員)、会場:3F ギャラリー前

定員 20名、参加費:無料(別途入館料必要) 要事前申込(フォーム)

【受付開始:10月8日(水) 12:30

※先着順、HP及び各種SNSにフォーム掲載】

4 ギャラリートークー藤焼の造形についてー

2025年12月13日(土) 14:00～14:30+質疑応答

講師 加藤亮太郎(陶芸家、幸兵衛窯8代目)

聞き手 岩井利美(当館館長)、会場:3F ギャラリー前

定員 20名、参加費:無料(別途入館料必要) 要事前申込(フォーム)

【受付開始:11月12日(水) 12:30

※先着順、HP及び各種SNSにフォーム掲載】

注意事項

イベントの様子は写真、映像にて記録し、各種SNSや記録集に掲載させていただく場合がございます。



モザイクタイルミュージアム

MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

URL <http://mosaictile-museum.jp>

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町 2082 番地の 5

電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

アクセス: [公共交通機関] 名古屋からJR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス(約20分の乗車)、東草口行き、羽根行き、モザイクタイルミュージアム下車。

[自動車] 多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。駐車場無料(笠原交流センター、体育館との合同駐車場)

